

平成28年度版		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
		前期				中期			後期		
		小学1年	小学2年	小学3年	小学4年	小学5年	小学6年	中学1年	中学2年	中学3年	
A	知	図書館の利用	○学校図書館の利用法とマナー 学校司書の存在を知る ・場所、設備、展示物 ・本の借り方返し方を知る	○地域の図書館を利用する ○レファレンスサービスを知り 利用する				○地域の図書館、歴史資料館、郷土資料館、科学館、美術館等を活用する ・コンピューター検索	○図書館、博物館、科学館、植物園等を活用する		
			B	る	分類・配架	○本は仲間分けしてあることを知る ○関心のある類について知る	○類を知る(0～9類、絵本)	○ラベルの数字(3桁)の見方を知る	○日本十進分類法(NDC)を知る ・請求記号の見方を知る	○類を覚える(0～9類)	○日本十進分類法(NDC)を理解する
C	見つける	課題の設定	○学習のめあてをもつ ○知りたいことを見つめる	○話すこと書くことを選ぶ	○学習計画の立て方を知る ○知りたいことの中から調べ ことを決める ♣思考ツールを利用する		○学習計画を立てる ○連想から発想を広げる		○目的と相手を明らかにする	○立場を整理する	○場面と相手と目的を意識する ○社会生活の中から課題設定 をする ○ブレインストーミングをする
			D	情報の収集	○いろいろな情報源があることを知る	○課題を解決するために自分で資料を集める	○課題に応じて資料や情報を集める ○多面的に考える	○課題に応じて複数の資料や情報を集める ○情報の特性を知る	○観点を立て、情報を集める ・マッピングの利用 ○情報の集め方を考える	○情報メモを書く ○多様な方法で情報を集める ○複数の情報源で調べ、比べる	○説得力のある資料を集める
E	つ	人からの情報	○興味をもって聞く	○人に聞く(マナー) ・短い言葉でメモを取る	○インタビューの仕方を知る ○メモを取る ・事前に質問の内容を決める	○メモの取り方を工夫する ・箇条書き ・話の組み立てを意識する ○アンケートを取る	・質問の答えの予測をたてる	○聞き取り調査をする ○取材をする 6年でアンケートの取り方を指導	○情報を的確に聞き取る ・要点を押さえてメモを取る ・録音、撮影 ・インタビューやアンケートを行う	○要点を整理して聞き取る ・インタビューの依頼文を書く	
			F	図鑑、辞典、事典、統計資料等の利用	○図鑑にふれる	○図鑑を使う ・目次、(索引)を見る *重点単元関連	○国語辞典を使う ○百科事典を使う ・目次、索引を使う ○ガイドブック、パンフレットを使う ○ファイル資料を使う	○漢字辞典を使う	○年鑑を使う ○白書や統計資料集を使う	○分野別事典を使う ・国語、漢和、類語、古語辞典、ことわざ、慣用語、英和辞典 ・百科事典 ・地図帳 ・題名、副題、キャッチコピー、目次、索引、引用、奥付	○系図、しくみ図、絵巻物
G	か	図表、絵、写真の利用	○興味のある図、絵、写真を探す ○絵を読み取る	○絵地図を読み取る	○図表、地図、グラフを読み取る ○年表を読み取る	○広告や説明書を読み取る ○地図帳を使う	○題やキャプションを活用する ○地球儀を使う	○複数の資料を活用する ○年表を活用する	○図表の役割を考えて活用する ・地図帳、写真、雨温図、主題図、地球儀、人口ピラミッド	・地形図 ・天気図	
			H	新聞や電子メディア等の利用		○わりつけや見出しを知る ○小学生新聞を読む ・インターネットを利用する	○記事を読み比べ、書き手の意図を読み取る ・記事の構成、写真の役割 ○メディアの特徴を知る ・メディア・リテラシーを身につける ○気象情報を得る	○説得の工夫を読み取る	○新聞の紙面構成の特徴を知る ・リード文、コラム、キャプション ○インターネットを利用する ・ウェブサイト、著作権、電子メール ○情報モラルを知る	○新聞記事を比べる ○メディアによる情報の特徴を考える	○新聞の社説を比較する ○現代のメディアの特徴を知り、 情報発信の意義と注意点を 知る
I	む	出典、引用、著作権、参考資料一覧について	○自分の考えと他の人(資料)の考えを区別する	○本の名前と書いた人の名前を書く	○出典について知る ・出版社名を書く	○引用の仕方を知る	○参考資料一覧を知る ○奥付を見る	○著作権を知る 6年で奥付を見るを指導	・コピー、出典、アドレス、著作権、引用 ・本に関する基本情報	○著作権を知る	
			J	情報の取り出し	○ワークシートに書く ・書き抜く ○メモに書く *付箋を貼る	○付箋やカードに書く ・短い言葉や文で書く *重点単元関連 *付箋を貼る	○情報カードに書く ○要約する *付箋を貼る ○あらすじをまとめる *情報カードに書く	○箇条書きをする ○引用する	○要旨をとらえる 6年で要約の指導	○カードや付箋に書き出す ○要約する ○要旨をとらえる	○取材メモを作る ○論説を比較し評価する ○適切な引用をする
K	まとめ	情報の整理	○伝える順序を考える ○情報を比べる	○理由を考える	○一番伝えたいことを決める ○書いてあることを整理する ♣思考ツールを利用する	○まとまりをとらえる ・推敲する ○関係づけて読む ♣思考ツールを利用する	○情報カードを活用する *取捨選択、順序、構成を考える ○適切な事例や資料をあげる *思考ツールの利用(ポーン図)	○複数の情報を効果的に活用する ○項目ごとに整理する	○情報カードを活用する ○構成メモを作る ○根拠を明確にする ○内容や構成、順序を工夫する ♣思考ツールを利用する	○情報を分類・整理する ○進行案を作る ○意見と根拠を考える	○編集をする ・見出し、キャッチコピー ○観点を立てて分析する
			L	まとめ	○感想を入れてまとめる *絵カード	○原稿用紙の使い方を知る *手紙、クイズ、紹介文	○事実と意見を区別してまとめる ○自分の考えと理由を書く *レポート、案内文、説明文、リーフレット、地図 *ホームぺージ	○目的と形式を考えて書く *新聞、ブック、意見文、手紙、ポスター *ホームページ	○目的に合わせた方法を選んでまとめる ○目的に合わせて事実と考えや感想を区別してまとめる *感想文、報告文、依頼文 *農業ごよみ、関係図	○著作権に留意する ○推敲をする ○原稿用紙の使い方身につける *記録、案内、鑑賞、通信、読書感想文 *レポート、スピーチメモ、ポスター *職業ガイド、読書案内、手紙、意見文 *推敲、報道文、批評文、冊子	○自分の考えをまとめる ○紙面構成を考える ○説明の仕方を工夫する ○表現や構成を工夫する *職業ガイド、読書案内、手紙、意見文 *推敲、報道文、批評文、冊子
M	伝え合う	発表、交流	○いろいろな発表の仕方を知る *実物、ペープサート *事物の説明、経験の報告、 応答、紹介、感想 ○話を集中して聞き話題にそって話し合う	○理由をつけて発表する *劇、クイズ、説明 *写真、フリップ	○相手に分かりやすい発表をする ・資料の出し方を工夫する ○考えの共通点や相違点を考えて話し合う ○意見交換をする *スピーチ	○役わりを考えて話し合う *案内	○要旨を意識する ○考えを正しく聞き取る ○資料を活用して説明する *ポスターセッション、討論、 助言、提案、推薦、読書会 ○立場や意図をはっきりさせて 計画的に話し合う	○発言の意図を明確にする ○意見と理由とのつながりを えながら聞く ○問題を解決するために話し 合う *プレゼンテーション *外部の人へ発表会	○反応を確かめ、言い換え、付け 足しをする ○わかりやすい発表や説明をする ○話題や方向を考えて話し合う *スピーチ、 グループ・ディスカッション、 ポスターセッション	○助言し合う ○考えを広げる ○プレゼンテーションをする ○相手の話を要約したり、言い 換えたりして発言する ○提案をする *フリップ、プレゼンテーション、 パネルディスカッション	○助言し合い、表現に生かす ○発言を評価する *評価メモ ○相手や目的に応じたスピーチ をする ○情報発信について話し合う *全体会議、発表会、 シンポジウム、ディベート
			N	ふり返り(毎時間、単元後)	○学習の過程と結果を活動に応じて評価する						

本体系表に記入した授業

重点単元に課かわる情報リテラシー (ピンク)

1年 国「いろいろなふね」 4年 国「くらしの中の和と洋」
 2年 国「ビーバーの大工事」 5年 国「和の文化を受けつぐ」
 3年 国「もうどう犬のくんれん」 6年 国「町の未来をえがこう」
 は公開授業に関わる情報リテラシー

司書教諭(学校司書)が関わった授業

(黄色) 全学年オリエンテーション
スキル指導

※学習指導要領及び松江市で使用している教科書を参照して作成しました。指導事項、内容は主に国語の教科書で示されている最初の学年のみ記載しています。 ※中学校の教科書での最初の学年を記載していますので、小学校との重複があります。
 ※小中ともに国語科の教科書の指導内容を基本とし、小学校では生活科、社会科(「学び方コーナー」)、理科(「理科の調べ方を身につけよう」)、中学校では地理・歴史(「技能をみがくコーナー」)、公民(「調査の達人コーナー」)、理科(「巻頭・巻末資料」「基礎操作」)、技術・家庭科、英語(「学び方コーナー」)の内容を参考に記載しています。
 ※学校の実態によって、下の学年で指導することもあります。また、各校の情報教育の指導計画とも照らし合わせて指導してください。
 ※表の内容をどの学習で扱うかは各校の年間指導計画によります。図鑑・辞典・事典の使い方、情報カードの書き方、フリップの作り方、レポートの書き方など「学び方指導の時間」として特設したり、単元の学習の中で活用として扱う等各校で工夫してください。
 ※表の各セルの指導事項をどの学習で行うかについては、学年ごとに単元・学習例を示した別表があります。(「学び方指導体系表」、「単元・学習例関連表」、「学び方指導体系表の趣旨、改訂の内容、表の見方」は松江市校務GWの共有フォルダ内にあります)
 ※表中の○は指導事項、は内容を示しています。「まとめる」「伝え合う」の欄の*印は言語活動例をあげています。
 ※「♣思考ツール」は、授業のねらいに合わせて選択し、探究的な学習の様々な場面で適切に取り入れてください。例：ベン図、Xチャート、くま手図、ピラミッド図、ポーン図、座標軸、マッピング、フローチャート、ウェブング、KJ法 etc.
 ※総合的な学習の時間では、上記A～Nを意図的に取り入れた指導を心がけてください。